
人間縮小化計画

橋本文広

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

人間縮小化計画

【Nコード】

N7871M

【作者名】

橋本文広

【あらすじ】

土地が足りない…深刻な土地不足に陥った極東の国がとった政策は人間を縮小させることだった。

極東の小さな島国は、常に問題を抱えていました。

少子化と高齢化、税金対策と経済対策、増える自殺者……ですが最も気に病むべきはその土地面積でした。

医療が進んだおかげで人が中々死にません。技術が発達したので皆が裕福になり、家という個人的空間を求めるようになりました。また、物の価値も付随して壊れ、簡単に物を捨てるようになり、ゴミの排出量が増え、埋め立てが間に合わなくなってきました。歴史的、芸術的建物や絵画を後世に残すためのスペースが年を重ねるのに比例して必要になってきました。

人と建物とゴミ。極東の国はそれらのもので埋め尽くされていました。中央機関はこの問題に何十年も前から気付いていましたが、為す術がなかったため沈黙を守っていました。ですが、それももう潮時です。今や国民の殆どが、人口過多と土地不足に気付いています。

海を越えた国からも、早く対策を練るべきだと忠告を受けました。人を殺すのはどうだろうか、移住させるのはどうだろうか。

人間の尊厳、権利そして生活を守りつつ、この問題を解決する方法はないだろうか……。

そこで提案されたのが、人間縮小化計画なのです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7871m/>

人間縮小化計画

2011年1月28日14時51分発行